

今月の最新ニュース

「タイにおける航空機産業の現状と今後(4)」

これまで3回に渡り、タイにおける航空機産業の現状をお伝えして参りましたが、今回が最終回となります。アセアン地域で航空機産業のハブを目指しているのは、タイだけではありません。隣国のシンガポールやマレーシアも、タイと同様に航空機産業の発展を目指しており、タイにとってこの2カ国はライバルと言える存在です。そこで今回は、両国の現状についてレポートします。

◆シンガポール

過去10年、毎年10%成長しているアセアン地域におけるトップランナーです。現在では世界のMRO (Maintenance, Repair, Overhaul) の10%を担うまでになっています。タイ、マレーシアと同様、政府が同産業の発展に力を入れており、政府系持ち株会社の傘下にシンガポール航空やST Engineeringといった企業を持ち、欧米企業との合併企業を立ち上げることで、OEM・Tier1の誘致に成功しています。

シンガポールには航空関連産業専用の工業団地 Seletar Aerospace Park があり、60社以上の企業が入居しています。同国には、上記工業団地内の企業を含め、約130社の航空機関連企業が存在しています。未だに欧米からの輸入に頼っている部品も多く存在していますが、今後、それらの国内での調達を進めるために、国内メーカーの育成だけでなく、タイを含めアセアンの他地域からの投資を見込み、誘致活動を行っています。

◆マレーシア

アセアンで第2位の市場規模(約4,000億円)を誇っています。航空機産業における製造機能の拡大が続いており、過去5年にわたり年平均5%以上の成長となっています。

航空機部品の輸出に関しては、コロナ禍以前の2019年までは年平均21%の伸び率を誇り、過去5年間で2倍以上の成長となっています。輸出の内訳はアメリカ向けが20%でトップ、隣国のシンガポール向けが12%で2位となっており、今後もシンガポールへの輸出の増加が予測されます。

シンガポールと同様に政府主導で発展が進められ、従来からの MRO をベースに製造分野でも複数の欧米企業を誘致した結果、ローカルサプライヤーを含めて約 130 社の航空機産業関連企業が存在しています。Tier2 層の日系企業の進出もあり、Asahi Aero Malaysia、IAC MANUFACTURING (MALAYSIA)、Sapura Aerospace Technologies などが現地で加工を行っています。

アセアン地域内では、同産業分野に従事する企業数が最も多いのがマレーシアですが、Tier1 層が望むような一貫生産体制の整った企業はまだ少ないのが課題です。また、大物の機械加工ができるメーカーが少ないようです。日系とローカルの連合で組み立てまでの生産体制を整えていくことで、更なる需要拡大を図りたいという声が、業界内からはあがっています。

◆タイ

タイは、アセアンではシンガポール、マレーシアに次ぐ市場規模となります。以前のレポートにも記載した通り、こちらも政府主導で同産業の発展に向けた取り組みを行っています。ただタイ航空とエアバスの合併会社の設立が見送られたり、コロナ禍で世界的に航空機産業自体が停滞した影響もあり、今後のタイ政府の舵取りが国内では注目されています。

タイは、他の 2 カ国と比較するとプレーヤーの数が少ないのが現状です（図 1 で代表的なプレーヤーを紹介）。またマレーシアなどと同様、一貫生産体制が整っていないことも課題です。タイの代表的な航空機部品メーカーの CCS Advance Tech Co., Ltd. と Lenso Aerospace Co., Ltd. などが協力し、体制を整えるための活動をしています。タイにおける航空機産業への参入にあたっては、この協力体制の中に入りこむことが、展開への道を開きやすいと考えられます。

これまで自動車部品の製造で成長してきた大手ローカル企業が、航空機産業への進出を検討しています。この流れは日系企業にとって、大きなチャンスと捉えられています。タイローカルが保有している「資源（資金・設備など）」と、日系企業が保有している航空機産業における「技術・ノウハウ」を掛け合わせることで、双方にとってメリットがある連携になると考えられるためです。タイに拠点がない企業でも、初期投資を極端に抑えながらタイ進出ができるため、今後、このような進出形態が増えることを期待しています。

大阪産業局 タイビジネスサポートデスク 株式会社 NC ネットワーク(タイ: NC BIZ CENTER (THAILAND) CO., LTD.)

日本事務所：東京都台東区東上野 1 丁目 1 4 番 5 号 ユーエムビル 8 階
タイ事務所：142 Two Pacific Place Unit 1101 11F, Sukhumvit Road,
Klongtoei, Klongtoei, Bangkok 10110 THAILAND

図1 タイ国内の主要プレーヤー

会社名	ロゴ	国	事業内容
C.C.S Group	 C.C.S. Group One-Stop Manufacturing Company	タイ	タイで航空の金属部品製造。航空部品の表面処理・組み立て
Triumph Group	 Triumph Aviation Services Asia, Ltd. A Triumph Group Company	米国	飛行機の構造物、ギアシステム、温度調整部、流体動力などの設計製造。修理・オーバーホールなどアフターマーケットまで一貫サービス対応。
Chromalloy (Thailand) Ltd.	CHROMALLOY	米国	タービンエンジンの修理・コーティング。エンジン部品の予備品提供
Leistritz (Thailand) Ltd.	 Leistritz	ドイツ	タービンエンジン・翼、ブリスク、構造物などの飛行機のコンポーネントを製造。
Rolls-Royce plc	 ROLLS RR ROYCE	イギリス	軍用機のジェットエンジン、民間機のタービンエンジン製造。修理やオーバーホールなどアフターマーケット対応。
GKN Ltd	 GKN AEROSPACE	イギリス	ジェットエンジン、タービンエンジンの部品製造。修理・オーバーホール対応。推力室の燃料ポンプ、排気ノズル製造。ガスタービン製造
TurbineAero Asia (TAA)	 TURBINEAERO	米国	タイで補助動力装置製造。APUのコーティング。APUとその部品の整備・補修・オーバーホール
Lenso Aerospace Co., Ltd.	 LENSO AEROSPACE	タイ	タイローカル企業である 1-tier サプライヤー。航空のエンジン、着陸装置、内臓、構造物の部品製造
Ducommun Technologies (Thailand) Limited.	 Ducommun Technologies	米国	航空機に使われる電子部品製造。構造物の部品の設計・製造。
Revima Asia Pacific Co., Ltd.	 Revima	フランス	補助動力装置、エンジン部品、着陸装置の整備・補修・オーバーホール
Senior Aerospace (Thailand)	 senior Aerospace	タイ	チョンブリーの工場では航空用エンジンの部品、構造物、飛行機の席を製造
Safran S.A.	 SAFRAN	フランス	航空用エンジン、アビオニクス、通信システム、構内サービス用品の製造
BOS Aerospace Ltd	 BOSA	イギリス	航空機の部品のメンテナンスサービス提供